

特集

●平成21年版中小企業組合白書の概要

- 理事長に聞く! 防府卸団地協同組合
理事長 山野 信夫 氏
- 会員紹介…山口県板硝子商工協同組合
- 山口県経済5団体懇話会 国体募金の取り組みを協議
- 「ちよるる商品」開発、「大会運営ボランティア」「花いっぱい運動」へのご協力
- 第61回中小企業団体全国大会開催
- 雇用調整助成金活用
- 組合等ニュース
- 地域力連携拠点事業
- 組合トップセミナー開催案内
- 景況動向



理事長に聞く！

「苦しい中においても、
売り手よし・買い手よし・世間よし」

防府卸団地協同組合
理事長 山野 信夫 氏

山口調理機株式会社 代表取締役
山口県中小企業団体中央会 監事
山口県中央会流通関係組合連絡協議会 会長
などの要職を務める

■業界の現状

大手企業と中小企業の格差は、以前よりも広がってきています。中小卸売業は、大手企業の販売網やインターネット販売等による直販体制の、いわゆる「中抜き」により、大変な圧迫を受けています。また、昨年のリーマンショック以降は景気が低迷し、倒産・廃業が続く、いまだ沈滞化しているのが現状です。

面白い話題としては、山口県の「地産地消」の方針により、市町や学校関

■組合の沿革

係等に納入する物品は、地元中小企業が多くなるようになり、市町村の合併時にみられた混乱がなくなってきました。

昭和49年7月に組合を設立し、昭和57年7月用地を取得。昭和57年8月団地造成工事に着手し、昭和58年1月完工。組合会館等を整備し、昭和59年2月団地完成。組合は35年の歴史を持ちますが、団地完成後は、共同施設の維持管理、切手・はがき等の共同販売事

■活動状況

卸団地ではありませんが、時代の流れで、卸売業だけではなく、建設業、製造業、運輸業、小売業やサービス業といった、ありとあらゆる業種の企業が組合員となっています。組合は、団地施設の道路・用排水・電気・ガス等施設の管理を主に行っていますが、なるべく賦課金を取らないよう経費を削減し活動しています。



■趣味や特技・最近熱中していること

大島まで気の合った仲間とめばる釣りによく出かけます。最近、兄に替わって庭の剪定をするようになりました。知識はまだですが、自分の思うような庭が創れたらと、3年先まで思いを巡らせ、恐る恐る少しずつ鉢を入れていきます。他には、健康維持のために月2回のゴルフを続けています。

■組合のPR

中小企業は「一心一体」。企業も人材があり、行動力がなければ維持されないということを心に刻み組合活動も行っています。石油等の高騰により経費がかかる時代になりましたが、今一度、共同事業を見直し、各企業からの負担金等も極力減らし、組合員一同協力しながら前向きに事業活動を行っています。

■座右の銘

厳しい中においても、独りよがりではなく、いつも考えています。今ほど厳しい時期なのですが、商売は「売り手よし・買い手よし・世間よし」の三方よしの近江の商法が生きる術ではないかと考えます。

〈組合概要〉

防府卸団地協同組合

防府市大字浜方鶴浜272-31

TEL 0835-24-0678

FAX 0835-22-1853

■業 種 卸売業、建設業、製造業、
運輸業、小売業、サービス業

■出 資 金 5,700万円

■組合員数 17人



平成21年版

中小企業組合白書の概要

（中小企業組合の組織・機能を活かした事業展開）

平成21年版中小企業組合白書がとりまとめられましたので、その概要を掲載いたします。（誌面の都合により抜粋したものを掲載いたします。）

今回の白書では、農林漁業者と連携して事業活動を行っている中小企業組合の現状を分析するとともに、その事例を紹介しています。また、時代の要請の中で、中小企業組合の新しい役割として期待される社会的責任について、調査研究報告書から紹介しています。

第1章 中小企業組合と農林漁業者との連携活動

I. 農工商等連携促進法の施行

農工商等連携促進法では、農林漁業者と中小企業者との連携して新商品・新役務の開発、提供等を行うことを目的とした「農工商等連携事業計画」の認定を各主務大臣から受けることで、税制（投資減税）、信用保証制度の別枠化、金融措置（無利子・低利融資、信用保険の特例）、補助金の申請等総合的な支援が行われる。農工商等連携事業計画の認定を受けるためには、農林漁業者（JA、漁協、森林組合等を含む）と中小企業者（農林漁業以外の事業を行う中小企業者に限る）のそれぞれが、経営資源（人材、設備、技術、ノウハウ等）を互いに持ち寄り、有機的に連携して共同で新商品の開発、生産及び

新役務の開発、提供並びにこれらの需要の開拓を行うことが必要である。

農工商等連携事業計画は、すでに平成21年10月23日現在で263件の認定が行われている。

II. 農林漁業者と連携した活動を行う組合等の現状

1. 農林漁業者と連携している活動
農林漁業者と連携している、又は関わり合いがある活動の概要について聞いたところ、組合毎にさまざまな取引品目や連携形態がみられ、その方法も異なっている。最も多い形態は、「農家が作物を生産、事業協同組合が集荷、調整、販売を担当している」や「農家との契約栽培、原材料の安定供給拠点として取引を行い、農産物の共同販売と農業資材等の共同購買を行う」である。

農工商連携に当たって、農業者等と定期的な会合を開催し、意思疎通を十分に図り協力関係を構築するとともに、行政を巻き込みながら地元産品を用いた新製品開発を行い、また観光資源としている例が多い。

2. 農工商連携活動の目的・成果
どのような目的のために農林漁業

者との取引、共同開発、販路開拓等の連携活動を始めたのか聞いたところ、「組合の共同事業（既存事業）の活性化のため」が42・6%と最も多く、次いで「原材料の安定供給のため」が40・2%と40%台の高い比率を示している。以下、「組合の取引商品の拡大のため」（33・1%）、「消費者からの信頼性の向上のため（消費者に対して安全・安心な商品を提供するため）」（31・4%）、「地域振興等地域社会への貢献のため」（30・2%）が30%台の比率で続いている。

また、農林漁業者による連携活動がどのような成果をもたらしているかをまとめると、「生産・販売の拡大」（36・7%）、「売上の増加」（36・1%）及び「組合事業の活性化」（34・3%）が30%以上の高い比率となっている。以下、「社会的信用の増大」「組合組織の活性化」「業務の効率化」「組合の業務範囲の拡大」「利益率の向上」が続いている。

以上のように、組合事業活性化を目的に連携活動を始める組合が多く、連携を通じて、生産・販売・売上の拡大・増加などの成果を上げている組合が多くなっており、農工商連携の有効性がうかがえる。

取り組んできた農林漁業者との連携に対して、今後の方向について聞いたところ、7割を超える組合が「現在の組合のまま、継続して活動したい」（71・6%）としており、その組織形

態としては、新会社の設立等新たな組織体を作ってまで事業を展開するより、現状の組織を使って事業を展開していくとする意向がうかがえる。

III. 農林漁業者と連携している組合事例

全国中央会では、都道府県中央会と連携し、調査・収集した先進事例の中から、農林漁業者と連携している中小企業組合の事例を要約して紹介する。

取り上げた事例の中では、地域の農水産物や生産加工技術・ノウハウなどを活かした新商品・新サービスの開発・ブランド化に取り組んでいるものが多く、また、観光振興や環境問題に対する取り組みなどを農工商連携により地域ぐるみで行っているものもある。

成功要因としては、地域のニーズや消費者の視線にあった話題性のある新商品や新サービスであることや新商品や新サービスがその地域でなければ手にはいらないものであることなどがあげられる。

■ 沢野ごぼう協同組合

（石川県七尾市）

地域を巻き込みながら、さまざまな取り組みを行った結果、地元の有力食品メーカーが農工商連携や地産地消の時流の中で、沢野ごぼうを用いた食品の商品開発を行うこととなり、農地の企業等への貸し出しが解禁されたのを受けて、組合直轄農地での生産に乗り出すこととなった。

第2章 中小企業組合の新たな役割と組合の社会的責任

1. 中小企業とCSR

近年、企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)の重要性が取り上げられ、英語の頭文字をとった「CSR」がしきりに話題とされてきている。

多くの大企業は、社会・環境・経済に対して果たすべき責任をいかに維持し、配慮を行っているかを、CSR報告書などの形式で広報しているが、資源に乏しい中小企業が大企業と同じように広い範囲の責任を果たすことはほとんど不可能である。そのため、CSRをめぐる議論はほとんど大企業を対象として行われ、中小企業はCSRから遠い存在という印象が強い。実際、中小企業経営者はいまのところ差しせまって対応する必要があるため、中小企業者の多くはCSRという用語を知らない。

しかし、このことは、中小企業がCSRと無縁であることを意味しないし、中小企業がCSRに取り組んでいないことを意味しているわけではない。CSRが主張していることは、企業が社会の構成員の1人としての責任を持つことである。企業活動は、地域社会に対する責任、環境問題に対する責任、経済社会に対する責任をもつという考えで、これは規模の大小を問わず、企業活動を行

う場合の基本的な考え方につながる。

中小企業も社会の一員として経済活動に参加している。CSRは、中小企業にとっても、なんらかの対応をしなければならぬ今日の重要課題の1つであるし、今後、一層この問題に深く関わることになる予想される。

わが国でCSRに取り組んでいる中小企業を調べると、業績の良い企業が多い。しかし、これは、業績のよい中小企業がCSRを行ったからではない。むしろ逆で、社会の要請に合致した事業を展開することによって競争優位を獲得し、結果として業績を向上させることができたのである。実際、どん底にあった企業が、いかに立ち直るかを従業員と共に話し合い、模索した結果、自然との共生、社会との共生の道をとることによって、つまり社会的要請に合った事業の展開によって業績を復活させた事例がある。

これまで述べてきたように、CSRは中小企業と無縁ではないし、これに取り組んできた企業も少なくない。

2. 中小企業組合の新たな役割

中小企業組合は時代の要請を受けて、新しい役割を果たし、進化を遂げてきた。いま、中小企業組合は、新たな組合事業の進化に直面している。以前より遥かに多くのことを求めるようになった社会と関わり、社

会の要請と対話しながら、それらの一体化を図る方策を立てて行動する、つまりCSR関連の行動をとる中小企業を支援し、個々の企業では実施できない行動を組合の共同事業として実施していくことである。このような組合活動をCSR関連事業というならば、組合はCSR関連事業によって、新たな進化をする好機にある。

3. CSRに関する組合の取り組み事例

■協同組合米沢総合卸売センター

(山形県米沢市)

組合員企業(45社、およそ800人、うち女性割合は約40%)に働く人たちの子育て支援という社会的ニーズを満たすため、組合は福利厚生施設としての保育園を立ち上げ、広く地域の人たちに解放することで将来の人材確保にもつなげようとしている。

第3章 最近の中小企業組合等連携組織の動向

中小企業組合の概況

1. 全体の動向

中小企業組合の平成21年3月末現在の数は、46,212組合(全国中央会調べ)である。このうち、事業協同組合が36,921組合で最も多く、次いで、商店街振興組合2,580組合、企業組合2,475組合、商工組合1,375組合、協業

組合1,113組合となっている。組合数は減少あるいは横ばいで推移している。

2. 組合設立の動向

中小企業組合は、昭和50年代には年間で1,000組合を超える新規設立があった。60年代及び平成元年度以降は年間800~900組合台で推移(平成4年度は1,003組合)している。10年度に792組合と800組合を割ったが、11年度からは再び800組合台で推移していたものの、19年度579組合、20年度514組合と大幅に減少した。

新設組合を組合の種類別にみると、平成13年度まで、事業協同組合が9割近くを占めていた。近年は、企業組合の設立が多くなり、12年度、13年度には新設組合の1割近くを占め、15年度からは2割台となったが、18年度は14.9%、19年度は9.7%、20年度は9.5%と低下している。

20年度の新設事業協同組合(連合会を含む)を業種別にみると、「異業種」が95組合で最も多く、「サービス」91組合、「建設業」89組合、「製造業」75組合が続いている。

新設組合の業種別の構成を昭和55年度と比較すると、「卸売業」「小売業」の割合が低下し、「異業種」の割合が増大している。サービス経済化など、産業構造の変化を反映したものととなっている。

山口県板硝子商工協同組合

防犯のキーワードは「防犯ガラス+二重ロック」

【40年間一貫した人づくりを推進】

当組合は、技能労働者の不足、加工コストの増加、さらには、過当競争等様々な問題を打開するため、昭和44年12月に設立された。今年12月で設立40周年を迎える。設立以来、一貫して業界の振興と人材の育成に努めている。今後も組合員一丸となって、より向上できる体制を目指している。

【教育情報提供事業に積極的に取り組む！】

当組合では、現在様々な機能ガラス（エコガラス、防犯ガラス等）が製品として流通していることから、その機能ガラスの商品知識について、毎年、機能ガラス普及推進協議会や板硝子協会の専門家を



招聘して研修会を積極的に開催している。また、施行技術についても後継者育成の面から講習会等開催し、技能・技術の向上に努めている。

【社会的ニーズに応える組合を目指して】

板ガラスは、建築、自動車等生活のあらゆる面で使われ、現代社会にとって切っても切れない存在となっている。今後もガラスに対する期待は高いに高まると思われる。そのような中、省エネルギー化に対応した「エコガラス」や、空き巣等に対応した「防犯ガラス」等、社会的ニーズに適合した製品が次々生み出されている。組合として、この

ような社会的ニーズを積極的に情報収集し、これに 대응するガラスの普及拡大活動を推進している。空き巣対策には、「防犯ガラス+二重ロック」が原則と

＜組合概要＞

- 組合名 山口県板硝子商工協同組合
- 理事長 藤村正一
- 住所 山口市小郡下郷791番地 6
(TEL: (083) 972-5840)
- 出資金 95万円
- 組合員数 36人

ものづくり試作開発等支援事業採択企業紹介

(株)ブンシジヤパン、徳機(株)と共同で「ベルト除菌クリーナーシステム」の開発に取り組む

地域の中小ものづくり企業が行う研究開発や試作開発から販路開拓までの取組等を支援する「ものづくり中小企業製品開発等補助金」に、山口県から試作開発等支援事業16件、実証等支援事業9件が採択された。

周南市にある食品包装資材の卸売業の(株)ブンシジヤパン（藤村周介社長）と化学機械装置メーカーの徳機(株)（岡田哲矢社長）が共同で取り組む「ベルト除菌クリーナーシステム」の試作品開発がその一つとして採択され、12月完成を目指し取り組んでいる。

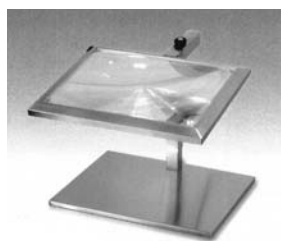
食品製造ライン等で使われるベルトコンベアーのクリーニング（食品残渣・汚れ除去、除菌）は手間がかかり生産の効率化を妨げている。このため、これを自動化する装置の開発を進めている。今回の補助事業では、部材の結合技術と動力伝達技術を用いて安定した鋳きとり・拭き取り機構を実現することによって、クリーニング性能に優れた自動化装置を試作開発する。

これが完成すれば、新たな商品分

野への販路拡大が図られ、ベルトコンベアーを使用する食品業界の食の安全、生産性の向上に大きく貢献できるとしている。

また、(株)ブンシジヤパンはこのほかにも、新商品開発に積極的に取り組んでおり、この度、LED搭載の拡大ルーペ装置「バイルック」が完成し、販売を開始している。

本装置は食品工場現場での食品異物混入の発見、精密な作業の補助器具として、簡単な仕掛けで拡大目視が出来る手軽な装置で現場の声から生まれた画期的な装置である。



秋の叙勲・褒章受章おめでとうございます

叙勲

旭日双光章 山下 清登様 (株式会社 山下工業所 相談役)

褒章

黄綬褒章 國村 次郎様 (株式会社 山下工業所 工場長)

(日立笠戸協同組合所属)

県選奨受章おめでとうございます

産業功勞

大中 哲昭様 (山口県中小企業団体中央会 理事)

(エレマ協同組合 理事長)

I 組合法施行60周年及び団体法施行50周年記念式典I

山口県から5組合、13名が受賞

10月29日、東京都の「ANAインターコンチネンタルホテル東京」に於いて組合法施行60周年及び団体法施行50周年記念式典が開催され、山口県から次の組合及び個人が受賞されました。
心からお祝いを申し上げます。

□組合法施行60周年関係 ○優良組合

経済産業大臣賞表彰

中小企業庁長官賞表彰

湯田温泉配給協同組合

シーモールしものせき協同組合

山口県室内装飾事業協同組合

○組合関係功勞者

経済産業大臣賞表彰 萬谷 英幸様 (柳井機械金属協同組合 理事長)
中小企業庁長官賞表彰

嶋村 健児様 (テクノセンター下関協同組合 理事長)

中村 重雄様 (山口県石材加工協同組合 理事)

○組合専従優良職員

全国中小企業団体中央会会長表彰

木原 幸賀様 (山口県火災共済協同組合)

佐伯 純吉様 (関門港石油協同組合)

栗谷 強志様 (山口県流通センター卸事業協同組合)

河上 恵子様 (山口県北西部生コンクリート協同組合)

浅地 照代様 (萩海産物加工協同組合)

野崎 木子様 (山口県自転車軽自動車商協同組合)

吉村美知子様 (岩国土建協同組合)

□団体法施行50周年関係

○優良組合

経済産業大臣賞表彰

中小企業庁長官賞表彰

山口県生コンクリート工業組合

山口県自動車整備商工組合

○組合専従優良職員

全国中小企業団体中央会会長表彰

笹川 仁重様 (山口県畳工業組合)

内藤登美江様 (山口県電気工事工業組合)

萩山千香子様 (山口県生コンクリート工業組合)

激動のとき

今こそ発揮 団結の力！

第61回中小企業団体全国大会開催

第61回中小企業団体全国大会が
11月19日、千葉市の幕張メッセにお
いて、「激動のとき 今こそ発揮
団結の力！」をキャッチフレーズに、
全国の中小企業団体の代表者ら約

3,300人が参加して開催された。
鶴田全国中央会会長の開会挨拶に
続き、地元千葉県の森田知事より挨
拶がされた。

続いて表彰式に移り、優良組合38

組合、組合功労者67名、
中央会優秀専従者33名が
表彰された。山口県から
は、優良組合として山口
県パン工業協同組合、組
合功労者として下関鑄造
鉄工協同組合の岡本理事
長、中央会優秀専従者と
して山本主事が表彰され
た。

続いて議長・副議長を
選任し、中小企業が直面
する重要課題についての
決議案が上程され、これ
に関して3人から、「景気
対策の実施とものづくり
支援の強化」、「連携組織
対策、資金繰り対策、中
小企業税制の充実強化」、

「中小商業・サービス業対策の充実、
中小企業に配慮した労働対策の推
進」について意見発表が行われた後、
原案どおり可決決定された。
引き続き、直嶋経済産業大臣をは
じめ、赤松農林水産大臣（代理）佐
藤総合食料局長（代理）、長妻厚生労働
大臣（代理）辻田政策統括官付労政
担当参事官、（株）商工組合中央金庫
の関代表取締役社長の来賓祝辞に続
き、社会民主党、自由民主党から挨



組合功労者

下関鑄造鉄工協同組合
岡本 博之 理事長



優良組合

山口県パン工業協同組合
岩本 秀行 理事長

拶の後、決議事項の早急な実現を求
める大会宣言が採択された。
なお、来年は11月18日に奈良県
で開催されることが決まった。

第61回中小企業団体 全国大会スローガン

- 1 経済危機を乗り越える
景気対策の強化
- 2 中小企業に配慮した雇
用対策の推進
- 3 連携・組織化政策の強
化と中央会の機能強化
- 4 万全な資金繰り対策と
活力維持に向けた税制
の拡充
- 5 下請取引適正化の徹底
と不当販売の根絶
- 6 商業・サービス業振興
対策の強化

『特許を取るための 料金が安くなる制度を知りたい』 研究開発型中小企業に対する特許料等の軽減

研究開発に取り組まれている中小企業の皆様の特許を取得する際の審査請求料・特許料を半額に軽減します。

対象となる出願

- (1) 売上高に対する試験研究費等比率が3%超の中小企業者が行う出願
- (2) 中小企業新事業活動促進法（廃止前の新事業創出促進法を含む。）に基づく中小企業技術革新制度（S B I R）の補助金等交付事業の成果に係る出願

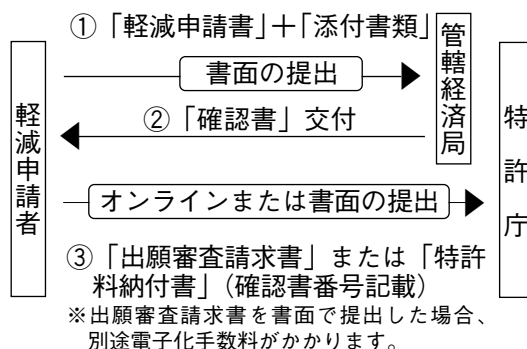
＜認定特定研究開発等計画に従って行われる研究開発事業の成果に係る出願＞
※ (2)～(5)については、上記事業（または計画）開始から事業（または計画）終了後2年以内の出願に限ります。

支援内容

- (1) 審査請求料の1/2軽減
- (2) 特許料（第1年分から第3年分の1/2軽減）
※「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく認定計画に従って行われる研究開発の成果については、第1年分～第6年分。

- (3) 中小企業新事業活動促進法（改正前の中小企業経営革新支援法を含む。）に基づく承認経営革新計画における技術に関する研究開発事業の成果に係る出願
- (4) 中小企業新事業活動促進法に基づく認定異分野連携新事業分野開拓計画における技術に関する研究開発事業の成果に係る出願
- (5) 「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく

ご利用方法



お問い合わせ

＜本制度・手続の詳細（申請様式、必要書類等）＞

<http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=tetuzuki/ryoukin/genmensochi.htm>
（「研究開発型中小企業」の項目をご覧ください。）

●手続の詳細については軽減申請者の方が所在する経済産業局特許室（中国経済産業局地域経済部次世代産業課特許室）、制度については下記までご連絡下さい。

【(1)～(4)の軽減制度について】

経済産業省産業技術環境局産業技術政策課（電話：03-3501-1773）

【(5)の軽減制度・S B I R・中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律について】

中小企業庁経営支援部創業・技術課（電話：03-3501-1816）

【経営革新計画・異分野連携新事業分野開拓計画について】
中小企業庁経営支援部新事業促進課（電話：03-3501-1767）

雇用調整助成金活用

パソコン基礎 教育訓練受講者募集

- 【対象】 雇用調整助成金・中小企業緊急雇用安定助成金制度が適用される事業所の従業員の方。
- 【募集定員】 各講座ごとに15名
- 【費用】 3,000円
- 【募集締切】 講習日時によって異なります。右の表をご覧ください。
・定員になり次第募集を締め切らせていただきます。
- 【お問い合わせ】 山口県雇用支援センター
TEL083-922-2424

講習日時	講座名	講習場所	申込み締め切り
平成22年1月14日(木) 9:30～12:30、13:30～16:30	Excel2007 初級	小郡ふれあいセンター (山口市小郡)	平成21年 12月25日(金)
平成22年1月15日(金) 9:30～12:30、13:30～16:30	word2007 初級		
平成22年1月21日(木) 9:00～12:00、13:00～16:00	Excel2007 中級	鉄工団地交流センター (周南市港町)	平成21年 12月31日(木)
平成22年1月22日(金) 9:00～12:00、13:00～16:00	word2007 中級		
平成22年1月28日(木) 9:30～12:30、13:30～16:30	Excel2007 中級	サンライフ岩国 (岩国市横山)	
平成22年1月29日(金) 9:30～12:30、13:30～16:30	word2007 中級		

中小企業の事業継続と 社会的信頼性向上のために

本会は10月30日、山口市小郡のホテルみやけで、中小企業における本格的なBCP策定普及を支援するため、中小企業BCP策定普及セミナーを開いた。



藺田 講師

はじめに、講師の有限会社藺田経営リスク研究所の藺田氏から「BCP策定・運用のポイント」をテーマに講演があった。

藺田氏は「地震災害や新型インフルエンザの蔓延などが起こったときの影響について、例えば、3か月間稼働率が70%に低下したときの資金繰りなど、実際に試算してみるといかに重大な事態が理解できる。重要なこととは、継続すべき事業を見定め、被災時の復旧までの目標を決めること。号令はトップダウンで、具体的な対策の構築は現場からのボトムアップ！最後はキャッシュフローが決め手となる。中小企業庁のHPにBCP策定支援の資料があり、まずは基本コースから取

り組んでみてほしい。」と呼びかけられた。

続いて、商工中金下関支店の野村営業第一課長が「BCPにおいて、国や商工中金は融資制度を設けており、相談対応をしている。」旨を説明。また、損保ジャパン山口支社の中山主任からは「保険金支払実績からみると、直接被害より事業休止による収益減少が企業活動への影響が大きく、それに対する保険は休業補償保険を設けている。」旨の説明があった。

その後、山口産業保健推進センターの足立保健師からは「新型インフルエンザ対策について基本的な防疫は季節性のものと変わらず、事務所などではしっかりと換気と加湿すること。従業員には手洗い・消毒を徹底すること。新型インフルエンザ情報は、厚生労働省や山口県のHPで欠かさずチェックしてほしい。」旨の説明があった。



「地域のイベントに」 下関蒲鉾ふれあい祭

吉見安岡蒲鉾協同組合

吉見安岡蒲鉾協同組合（理事長奥野丞）は11月7日、下関市の吉見蒲鉾団地において昨年に引き続き2回目の「下関蒲鉾ふれあい祭」を開催した。11月15日が「かまぼこの日」に制定されており、地元産の水産練り製品のPRと日頃の感謝の意を込めて始めたもの。

会場では、竹輪・てんぷらの手作り体験や、農協、漁協、水産大学校、自衛隊等からの参加、協力もあり地域一体となったイベントが催され、多くの人で賑わった。



全国中央会がブロック中央会 官公需担当指導員会議を開催

10月27日、中小企業庁、中国経済産業局、全国中央会、中国5県中央会の

官公需事業担当者一堂に集まり、「官公需適格組合の申請」や「官公需適格組合を巡る最近の動向と課題」を学び、いかに中小企業の受注の機会を増やし、その方法の一つである官公需適格組合の制度を普及していくかを協議した。

中国経済産業局からは、「適格組合証明申請を受け証明をしているが、証明を受けても受注に繋がらないと良く聞く。しかしながら、証明は証明であり、受注の努力はあくまで組合の努力であることを留意すること。」との話があった。

全国中央会は、「景気の指標の一部には持ち直しの兆しも見えるが、雇用面をみるとまだまだ。国の中小企業向け契約目標金額は約5兆1,993万円であり、前年度実績比1兆円以上の増額を目標としているが、適格組合の受注額も最近の情勢から減少の傾向である。また、全国的にも適格組合数が減少してきている。」と説明。

中小企業庁からは、「官公需情報収集事業の見直しをし、全国一斉の『官公需情報ポータルサイト』を立ち上げ、10月から試験的に公開しているので、利用願いたい」との話があった。

ものづくりフェスタ 2009開催！

11月8日(日)山口市維新百年記念公園内「山口県スポーツ文化センター」において、ものづくりフェスタ2009が開催され、多くの組合関係者も参加した。

当日は、ステージイベントとしてアルミ製チエロの演奏、ガラス楽器コンサート等が行われた。会場内のモザイクタイルのなべしき作り、木工教室、ぬり絵、ケーキデコレーション体験、竹のおもち作り、粘土細工、畳製作の実演等では、多くの子供たち、親子づれがいろいろなコーナーに分かれ、ものづくりの楽しさを体験した。(表紙写真)



徳地フェスティバル09 盛會裡に開催！



11月1日(日)徳地フェスティバル09が、山口市徳地山村開発センター周辺で開催された。地域の特産品を紹介しながら、もちまき、徳地八坂小児童の「重源太鼓」など多彩なイベントが行われ、ふれあい交流を深めた。当日は、とくち健康茶企業組合の、カワラケツメイのお茶、どくだみ茶、よもぎ茶、とくち外郎等の各種商品販売ととくち健康茶入りの茶がゆの試食が行われた。

エステセミナーを開催！

山口県理容生活衛生同業組合

11月2日山口市小郡下郷の山口理容美容専修学校において、山口県理容生活衛生同業組合(理事長角野悦雄)が、組合研究集会を活用して「エステセミナー」を開催した。本セミナーは、エステを理容サロンの中で理容本来のメニューと共存させ、より付加価値のあるメニューとして提案し、更なるサービスの向上を図ることを目的として実施。今回は数あるエステの中で「耳エステ」を取り上げ、県内の理容師ら約40人が参加した。

参加者は、実際にモデルの「耳」を使い耳掃除、肩や首までのマッサージの仕方等の実技とリラゲゼーションエステとして、お客様へのサービスの向上等について熱心に学んでいた。



NHK大河ドラマ 「天地人」展を開催

山口道場門前商店街振興組合

山口市を代表する商店街の山口道場門前商店街振興組合(理事長吉松昭夫)では、商店街内のどうもんパークNHK文化センター隣の特設会場において、「天地人」展を10月31日から11月8日



まで開催した。会場では、ドラマの撮影で豪華キャストたちが着用した数々の衣装を展示された。この展覧会には、山形県、福島県の両中小企業団体中央会の協力を得て、「天地人」ゆかりの観光パンフレットも用意され、来場者からは、「会津、米沢、福島に行きたい。」との声も多くあった。単なるドラマの展示会に終わらず、山口と東北各市との縁を結ぶ「天地人」展となった。

光市花壇コンクール 最優秀賞受賞！

企業組合光中高年事業団

80団体が参加して行われた花壇コンクールに、企業組合光中高年事業団（理事長末永一博）は、立野一ノ瀬の事務所に花壇を設け挑戦した。肥料や土づくり、配色、花の摘み取り等の研究を重ね、年々レベルを上げてきており、昨年は優秀賞を受けた。今年は、昨年に審査員から受けたアドバイスを生かし、審査日に合わすように花の摘み取りを行い、見事に初の最優秀賞を獲得した。



ルーラルフェスタ 開催

11月7日(土)、8日(日)の2日間山口

県内各地域でルーラルフェスタが開催された。ルーラルフェスタは、朝市・直売所等を広域的にネットワークし、農山漁村女性等の活躍の場づくりを進め、消費者との交流を図ることを目的に平成7年度にスタートした。ルートの拠点のひとつである企業組合みんと村にも多くのお客さんが訪れ、ハーブティー、ハーブケーキ、いやしの憩茶等の商品を買いたい求め、スタンプラリーを楽しみにまわっているお客さんとの交流を深めた。



アップ講習会を開催！

山口県美容業生活衛生同業組合



11月2日山口県美容業生活衛生同業組合（理事長吉田笑子）は、組合事務所2階研修室において、組合研究集会を活用して「アップ講習会」を開催した。本講習会は21人が参加し、正月や成人式に向けて髪のアップ技術の習得を目的として実施。今月、あと2回の講習会を実施する予定で、合計3回の講習会で6パターンのアップ技術の習得を目指している。

参加者は、ウィッグ（練習用人形）を使いアップスタイル、生えぐせの修正やボリウムアップ、美しい足元の処理等の技術、また、洋装・和装のバリエーションなど技術とコーディネートについて真剣に学んでいた。

ジャパン・ファッショ デザインコンテストを開催

山口県繊維加工協同組合

山口県繊維加工協同組合（理事長岡部泰民）では、11月8日、山口市の山口情報芸術センターにおいて、デニム素材を使った国内最大のコンテスト「ジャパン・ファッショデザインコンテスト in 山口」を開催した。平成12年度から、

「メイド・イン・ジャパン」をコンセプトに新人デザイナーの発掘を目的に開催され、このほど10周年を迎えた。今回は、全国から約千点の応募があり、その中から厳正な審査により75点が選ばれ、コンテスト当日に披露された。



前日には、本コンテストから生まれた若手デザイナーのブランド商品を紹介する「ニュークリエーターズコレクション」、山口で生産された商品を紹介する「ジャパン・ジーンズコレクション」も開かれた。

月次景況調査結果

平成21年10月期

業種別の景況

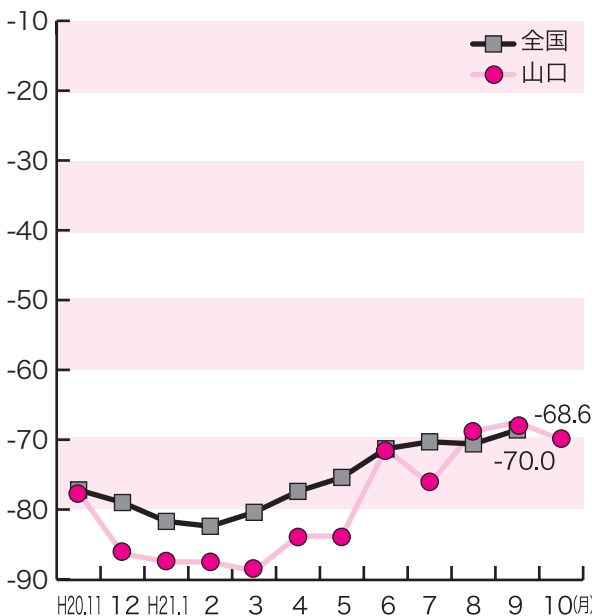
	業 種	景況(DI値)
製 造 業	食 料 品	☂
	織 維 ・ 同 製 品	☔
	木 材 ・ 木 製 品	☔
	印 刷	☔
	窯 業 ・ 土 石 製 品	☔
業	鉄 鋼 ・ 金 属	☂
	一 般 機 器	☔
	輸 送 機 器	☔
	そ の 他 の 製 造 業	☁
非 製 造 業	卸 売 業	☂
	小 売 業	☔
	商 店 街	☔
	サ ー ビ ス 業	☔
	建 設 業	☔
業	運 輸 業	☔

30以上 ☀️ 10以上30未満 ☀️ -10以上10未満 ☁️
-30以上-10未満 ❄️ -50以上-30未満 ☔️ -50未満 🌧️

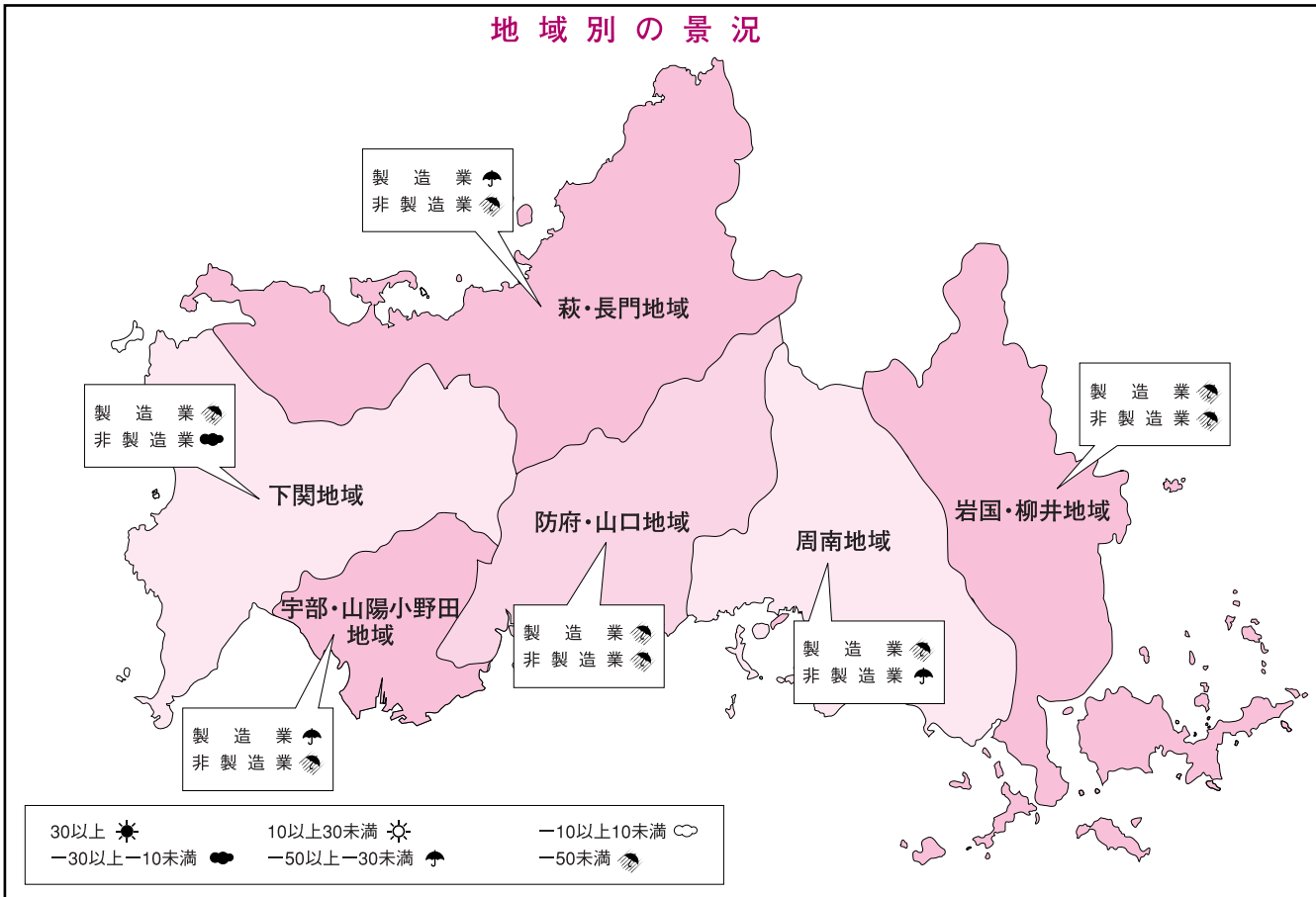
※DI値（前年同月比）＝増加・好転組合割合－減少・悪化組合割合

(表、グラフについては、情報連絡員60名の他に、中央会が聞き取り等で集めた20組合のデータが加算されています。)

業界の景況の推移 ―全国平均との比較―



地域別の景況



【情報連絡員報告】

情報連絡員とは、県内の組合の中から地区・業種を代表する組合の役員60名を情報連絡員に委嘱する制度です。情報連絡員から毎月、業界の景気動向に関する情報を収集、分析して、行政面に反映させるとともに、各関係機関に情報提供しています。

また、中央会 (<http://www.axis.or.jp>) のホームページに掲載していますので活用ください。



食料品

○10/14〜16東京ビッグサイトでの「グルメ&ダイニングショー」に萩の金太郎を出展。約100か所の市町村ブースの中でも、大変注目を集めた。
(食料品製造業)



繊維製品製造業

○益々厳しく、苦しい状況。
(繊維・同製品製造業)



窯業・土石製品製造業

○本年度の上半期出荷量について、地域的なアンバランスが生じているものの、県全体では前年並みで推移。
(セメント・同製品製造業)



一般機械器具製造業

○周南大手の定期修理工事はあるものの、電気・配管供給ガス類の使用料が約2割低下し、工場の稼働が低下している。
(一般機械器具製造業)



鉄鋼・金属業

○自動車の生産が持ち直してきている関係もあり、徐々にではあるが売上増加傾向にある。
(その他製造業)



輸送用機械器具製造業

○車輛部門はまだ上昇の気運に欠け、作業量の増加が見られない。プラント、加工部門は低成長のトンネルに入ったままで、浮上のきつかけがつかめない状態が続いている。
(鉄道車輛・同部品製造業)



その他の製造業

○県下全域で昨年と変わらず低調。
(豊製造業)



卸売業

○政権交代による期待感と不安感の中で、まだ実績としては現れないが、好転することを期待して様子見といったところ。
(柳井市)
○「値下げ」「インフルエンザ」等、食品卸は特に厳しい。
(周南市)



小売業

○新しい集客催事として「徳山駅前骨董市」を第2日曜日に開催。想定外の人出で久しぶりに賑わいを見せた。催事日以外の人出の確保が悩み。
(周南市)



商店街

○10月に入り、時計・宝石・高級衣料品等の高額商品の販売がやや増加してきているが、消費一般は低迷している。
(山口市)



サービス業

○10/9〜10/12商店街で萩焼祭りを行ったが、来場者はほぼ昨年同様であるものの、買上げ単価は下回っている模様。
(萩市)



○ハイブリッド車の普及がハイペースで進んでいる。整備工場はハイブリッド車や電気自動車等の点検・整備に必要となる設備の設置や技術の取得等の対応が急がれる。
(自動車整備業)



○下期の最初の月であるが、先月同様に昨年と比較すると、売上・利益ともに減少している。昨年はリーマン・ショックが大きな問題となり、世界的に金融不安を招いたがIT業界としてはネット事業も頭打ちを余儀なくされ、当組合としても今年度に入ってから減少傾向に歯止めがかけられない。
(情報サービス業)



建設業

○経済対策がなされないまま政権交代となり、公共工事・民間工事とも景気の動向を見守っているのが現状。業界としては、ただただ辛抱あるのみの状態が続いている。



運輸業

○公共工事のうち、県工事の発注は増加したものの、国の補正予算関連の工事が減額されるのに伴い、発注が保留されている。
(柳井市)



○9月までは、低調ながら回復の兆しの中推移してきたが、10月に入り再び輸送稼働は落ちてきた。今年一杯この状態が続く様相で、上昇基調の燃料費も頭が痛い。



○輸送業全体なのか一部なのかかわからないが、今後の見通しに好材料が見えてこない。運賃の低下により採算が合わない場合もある。まだまだ厳しい状況である。



○ほんの少しではあるが、荷動き等が良くなってきた。しかし、まだ先行きに不透明感があり、これからが正念場といった印象である。
(宇部市)

国体募金の取り組みを協議

11月5日、山口県経済5団体懇話会（構成団体…経営者協会、商工会議所連合会、商工会連合会、経済同友会、中央会）は、開催まであと2年と迫った「おいでませ！山口国体」に対する募金活動について話し合いました。

経済情勢が厳しい中での募金は、企業にとって難しいとの意見も出されましたが、募金目標額4億円のうち、県から経済5団体に要請のあった1億4千万円は「努力目標額」として、経済5団体が連携し、取り組むこととなりました。

中央会としては、今後の募金活動について理事会で協議し、決定次第会員の皆様にお知らせすることとしています。

（参考）

募金の使途
（大会のボランティア活動、花いっぱい運動等国体県民運動などの大会運営に活用）



「ちよるる商品」開発、「大会運営ボランティア」「花いっぱい運動」へのご協力

①「ちよるる商品」開発への協力

◆ 企業等の皆様に、「おいでませ！山口国体」「おいでませ！山口大会」のマスケット「ちよるる」を使用した商品開発のご協力をお願いします。

○ 呼びかけ期間…随時

○ 手続・使用料…使用に当たっては事前申請が必要です。また、小売価格の3%の使用料をいただくこととなります。

○ お問い合わせ先…県実行委員会事務局総務企画課広報・県民運動班 安仲
TEL…083（933）4793

②大会運営ボランティア「きらめきサポーター」の募集

◆ 「おいでませ！山口国体」「おいでませ！山口大会」の開・閉会式等において、「受付・案内」「会場サービス」等に従事していただくボランティアを募集します。

○ 募集期間…平成21年10月11日

～平成22年3月31日（6か月間）

○ 募集窓口…国体きらめきセンター
TEL…083（933）2885

③「花いっぱい運動」への参加者募集

◆ 「競技会場」をはじめ主要駅、沿道等を、国体推奨花でいっぱいにして来場者を迎えるため、今後、小中学校・自治会が行う苗の植付・育成を支援していただいたり、自ら花植えをされる方々を募集します。

○ 募集期間…平成22年度参加分については締切となりましたが、平成23年度参加分について、随時、市町実行委員会事務局に御相談ください。

○ 応募方法…各所在地の市町実行委員会事務局へお問い合わせください。

仕事と子育ての両立支援

10月13日から周南、宇部、下関、岩国、山口の県下5会場で、一般事業主行動計画策定講習会を開催した。

瀬口詩麻特定社会保険労務士を講師に招き、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定手順と届出の方法について説明を行った。

法改正により、平成23年4月からは、従業員数101人以上300人以下の事業所も労働局への届出が義務付けとなり、仕事と子育ての両立を支援する一層の取り組みが求められている。



2010年組合トップセミナーのご案内

本セミナーは、県内中小企業連携組織のリーダー等を対象に、今後の経済見通しと中小企業の生き残り戦略について学んでいただくとともに、相互の交流を深めていただき、組合等の活性化・発展を図ることを目的としています。多数の皆様方のご出席をお待ちしています。

日 時	平成 22 年 1 月 26 日(火) 15:30~18:30
場 所	山口市小郡「山口グランドホテル」
日 程	15:30~15:35 開会挨拶 山口県中小企業団体中央会 会長 清 弘 和 毅 15:35~17:00 講 演 「今後の経済見通しと中小企業の生き残り戦略」 日刊工業新聞社編集局 第二産業部長兼論説委員 板 崎 英 士 氏 17:10~18:30 交 流 会
交流会参加料	6,000 円 (参加料は下記口座に事前に振り込みをお願いします。)
振 込 先	西京銀行 山口支店 普 0284935 山口銀行 山口支店 普 0796287
口 座 名 義	山口県中小企業団体中央会
参 加 対 象 者	県内中小企業連携組織のリーダー等

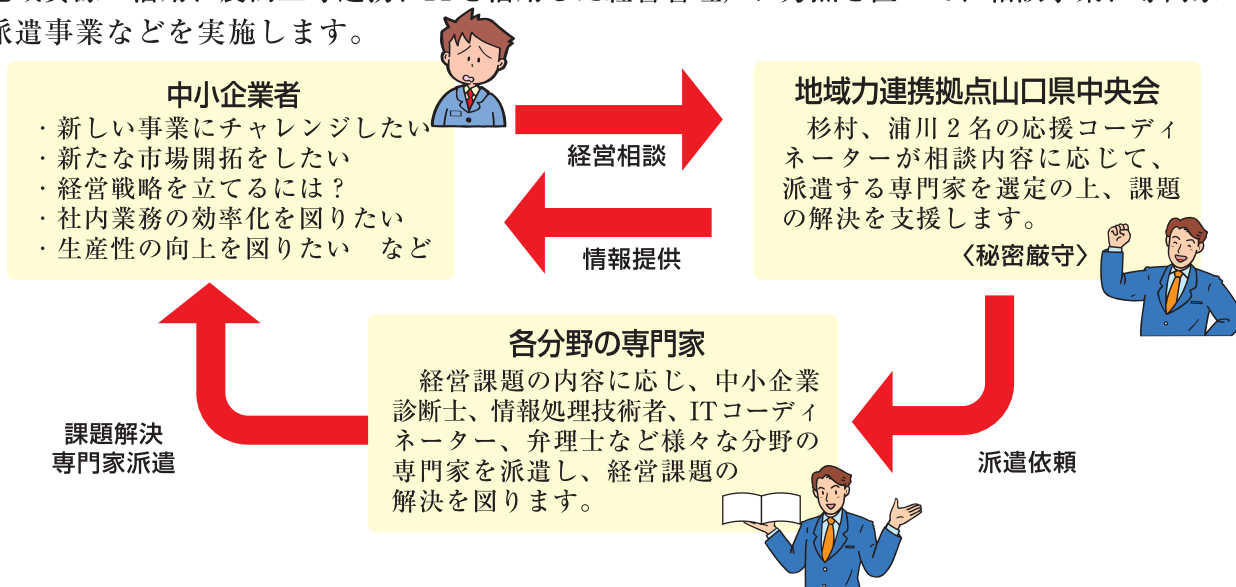
■申込み・お問い合わせ 山口県中央会 企画課 (担当: 倉重) TEL.083-922-2606

地域力連携拠点事業

あなたの経営課題を解決します。

(相談・専門家派遣無料)

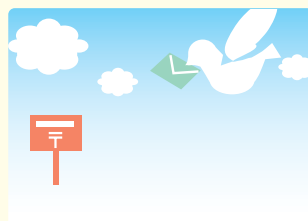
山口県中小企業団体中央会は、会員組合等傘下の小規模企業等の経営力の向上(経営革新、地域資源の活用、農商工等連携、ITを活用した経営管理)に力点を置いて、相談事業、専門家派遣事業などを実施します。



■ご相談・お問い合わせ 地域力連携拠点山口県中央会 ☎083-922-2606

2009
12.1

今日の さわやかレター



湯田温泉配給協同組合

安光 幸子さん

当組合は、温泉の安定供給が最も重要な仕事で、私はその中で一般事務を担当しています。趣味は、草花、洋ランを育てて25年になります。また、ソフトバンクホークスの熱烈なファンで、1年に2、3回はドームへ応援に行っています。私のモットーは、いつも笑顔で、前向きに生きていくことです。温泉は、旅館・ホテル等約60箇所に供給しており、観光客や市民のための足湯も5箇所提供しています。湯田温泉の源泉は、7つありますが、湯量は1日2,000トン、泉温は72℃と高温で、山陽路随一の温泉といわれています。また、泉質は、アルカリ単純泉で、アルカリ度が高く、「美肌の湯」と呼ばれています。是非、湯田温泉にお越しいただき、日常の疲れを癒して下さい。

表紙写真は、ものづくりフェスタ2009イベント写真

編集・発行

 **山口県中小企業団体中央会**

〒753-0074 山口市中央4丁目5番16号 山口県商工会館6階

☎ 083-922-2606 Fax 083-925-1860

<http://www.axis.or.jp/>



印刷製本 株式会社マルニ